

# 学都屋台食談

第10回

金沢で過ごす学生生活の意義や仕事観・人生観を、石川県に拠点を構える企業経営者や大学学長らが講師となり、講師の経験をもとに学生と語る「学都屋台食談」が11月10日から12月2日にかけて、金沢市の片町中央味食街で開催されました。2006年から今年で12年目を迎え、講師と県内の大学に通う学生が和やかに繰り広げた食談で、講師が学生に熱く語られたメッセージを紹介します。第10回は川崎博子・NTTドコモ執行役員北陸支社長。

いつか、あたりまえになることを。

NTT  
docomo

企画/榊都市環境マネジメント研究所

## 多様性を認め、変化を積み重ねて 大きな転換を起こす

皆さんは「ファーストペンギン」をご存知ですか。南極にいるペンギンは、吹き荒れるブリザードの寒さや風に耐えられるよう、みんな体を寄せ合うコロニー(集団)で暮らしています。ただ、いつまでもその状態のままではエサがとれません。そこで、群れの中から天敵がいるかもしれない海に飛び込む勇敢なペンギンが現れます。それがファーストペンギンです。

それは私たちの社会にも当てはまりません。全員がファーストペンギンではありません。新しいことに挑む人もいれば、企業や組織の中で今ある役割を果たしている人もいます。どちらがいい悪いということではなく、それぞれのタイプがいるからこそ集団全体が成り立っています。自分がどちらのタイプなのかは、経験を積むことで分かってくると思いますよ。

ところで、私は以前インターネットの仕事に関わっていました。インターネットが普及する段階では成功するかどうか分かりませんでした。が、模索しながらもサービスを提供し続けることで、ビジネスもコミュニケーションの在り方も大きく変わってきました。小さい変化でも、積み重ね続けることで本質的な変化になります。多様性と変化の積み重ねは大きな変革をもたらすと強く感じています。

## さまざまな視点が 画期的なアイデアの種

NTTドコモは携帯電話を扱う会社ですが、情報やネットワークのスキルに長けた人材ばかりを求めているわけではありません。例えば、ドコモでは、通信だけでなく、あらゆるモノをインターネットでつなぐIoTや人工知能による水田の水量調整や水温管理、海水の塩分濃度監視など、農業や漁業を支援する取り組みも行っています。

皆さんも多様な視野を身につけるためにも、いろいろな経験を重ねてください。学校で学んでいることと仕事内容とは直結しな

くてもいいと思います。今は役に立たないと思うような経験でも、社会に出ると意外なところで生きてくることがよくあります。関係ないと思われる視点を結び付けたり、転換したりすることで、時代を変えるような画期的なアイデアが生まれてくるかもしれませんよ。

## 家庭と仕事を両立する 選択肢を広げよう

仕事を続ける女性にとって大きな問題になっている家庭との両立も、視野を広げることとヒントが見つかるかもしれません。まだまだ社会には、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識が根強く残っています。そんな中で、結婚や出産・育児をしながら、女性が職場でも活躍していくためにはまず、「働き続ける覚悟」をしっかり持つことが大切です。そのうえで、強い気持ちで胸に解決策を探っていきましょう。

最近では、便利な家事代行サービスもあれば、ケータリングも豊富です。留守の間掃除してくれるロボットだっています。一から十まで自分一人で背負い込まず、前向きな目で見渡せば、仕事も家事も効率的に行うための選択肢がきつと見つかるはずですよ。

現代は男性が家事を「手伝う」のではなく、お互いに「シェアする」時代です。男性女性関係なく、仕事も家庭も、広い視野で見つめ、一人ひとりが納得できる道を歩んでくれるとうれしいですね。

# 多様な“個”を認めることが大切



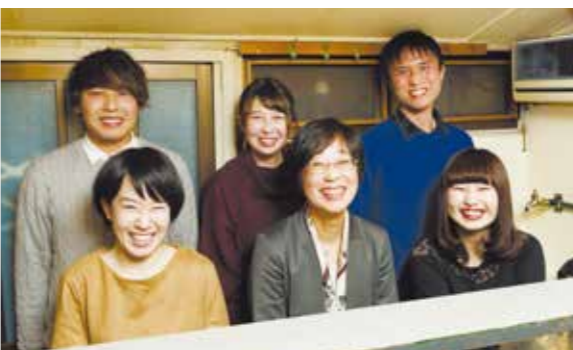
講師

株式会社 NTTドコモ  
執行役員北陸支社長

川崎 博子氏

かわさき・ひろこ

高知県高知市出身。大阪大学人間科学部卒業後、日本電信電話(NTT)に入社。2001年NTTドコモ法人営業企画部担当課長。以後、東海支社静岡支店長、お客様サービス部長、CSR部長を歴任。17年6月より現職。07年4月～17年4月まで厚生労働省労働政策審議会雇用均等分科会員。



参加  
学生

前列左から洲上明日香さん(金沢大学3年)、高井麻妃さん(北陸大学3年)、後列左から得田流雅さん(金沢学院大学2年)、室江加奈子さん(金沢工業大学3年)、石黒裕也さん(金沢星稜大学4年)